

躍進 京滋の中小企業

パソコンを使った学習システム「天神」を開発し、ソフトを組み込んだハードディスクやサーバーを販売するほか、ネット接続して使うクラウド型サービスを提供している。活用する子どもの理解度に応じて学習できることなどが特徴で、利用者は5万人を数える。

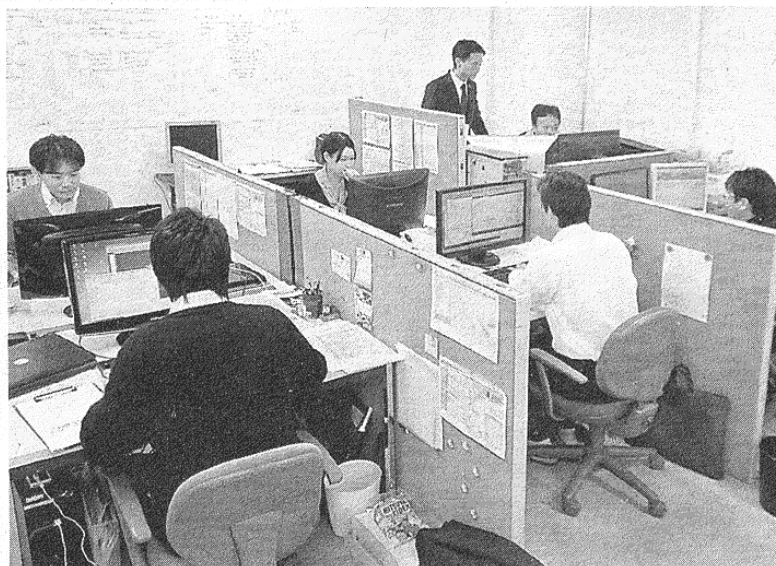
夕オは、井内良三社長（54）が教材販売会社を辞めて設立した。会社の目標を「自己実現を支援する」とした。持ち味を發揮して自他共に幸せになることが自己実現で、勉強を通して持ち味を見つけられると考えた。

当初は他社のパソコン学習システムを販売しながら開発に当たった。目指したのは「日本一実効ある学習システム」で、塾講師や大学助手らに問題作成を依頼し、井内社長が編集した。会社設立から約3年後、小学生版の天神を発売した。

天神は現在、乳幼児から高校生まであり、小学生版と中学生版は教科書に準拠している。子どもにとって問題が難しい場合はアニメ形式のヒントを出していく。類題も繰り返し解いてもいい、それでも分からない際は

（草津市）

夕オ



学習システムのプログラムを作る社員たち
（草津市大路2丁目・夕オ本社）

予備校講師によるビデオ講義を聴講し、下の学年の問題に戻ることもできる。

11月には文部科学省や経済産業省などが後援する第10回「日本eラーニング大賞」に選ばれた。最優秀との位置に選ばれた。井内社長は「やった。問題を予想する機能や、リオンカーンら偉人たちが誕生日ごに登場し、失敗談や人生訓を紹介する工夫を凝らしている。発達障害の子ども向けにモードを切り替えることもできる。海外展開を視野に入れてい

「日本eラーニング大賞」のほかに、学校のテスト問題を選ばれた。最優秀との位置に選ばれた。井内社長は「やった。問題を予想する機能や、リオンカーンら偉人たちが誕生日ごに登場し、失敗談や人生訓を紹介する工夫を凝らしている。発達障害の子ども向けにモードを切り替えることもできる。海外展開を視野に入れてい

親の転勤で海外にいる子どもの利用を広げるため、日本の教育関連会社と代理販売に向けた協議を進めている。海外の教科書会社などと提携し、天神を現地仕様にすれば事業を拡大できる可能性は高まっていく。「携のためにも実効ある学習システムを追求していきたい」と意気込む。（矢ヶ村尚幸）

工夫光るパソコン教材

問題を図や文章で解説する天神の画面

5/6 04:53 0点

図のように、暗い部屋でボールに電灯の光を当て、いろいろな位置に置いて、ボールの明るい部分がどんな形に見えるか調べました。問いに答えなさい。

ボール(月) 電灯(太陽)

1 2 3
4 5 6
7 8

答え

○のように見えるのは、図の1～6のうち、正しいものを一つ選び、番号で答えなさい。

光って見える部分は、電灯の光を受けている部分です。

ボールが電灯と反対の方向にくると、見えて光が当たるので、満月のように見えるんだね。

答え 7

1992年設立し、95年に「天神」小学生版を発売。2006年、経済産業省「IT経営百選」最優秀企業に認定。12年には滋賀県中小企業家

同友会の「滋賀でいちばん大切にしたい会社」を受賞。資本金1000万円。役員・従業員は計40人。13年3月期の売上高は6億4000万円。